

# 手稲山アンテナ群の謎

手稲区のシンボルともいえる手稲山。

山頂には普段何気なく見ている無数のアンテナ群がそびえています。

「このアンテナ群って、いつ、何のために造られたんだろう？」

ふと、そんな疑問を持ったクマオくんは、手稲に関することなら何でも知っているテイーネ博士に、山頂のアンテナ群についていろいろ尋ねているようです。

さあ、私たちもクマオくんと一緒にアンテナ群の謎を解いていきましょう！



クマオくん



テイーネ博士

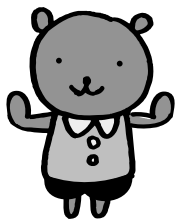
**クマオ** 博士！前から気になっていたんだけど、手稲山の頂上から生えているトゲみないのって何か知ってる？  
**博士** もちろん知っておるぞ。あれはな、アンテナじゃよ。ア・ン・テ・ナ。  
**クマオ** もしかして、あのアンテナの下で誰かがテレビを見てるとか？  
**博士** 違う違う（笑）。あのアンテナ群は、いろいろな用途に利用されておるんじやが、代表的なのはクマオくんの大好きなテレビやラジオ放送の電波を送り出すアンテナ（送信所）じゃ。なんと、日本初のマウンテントップ方式と呼



ばれるアンテナの設置方法なのじゃよ。  
**クマオ** 日本初なの!?すごいなあ。ところで、マウンテントップ方式って何なの？  
**博士** 高い所から景色を眺めると、いろいろな物が見えるじやろ。それと同じように高い所から電波を出した方が邪魔になるものがなくていろいろな所まで電波が届きやすいのじゃよ。そこで、札幌圏では標高が一、〇二四メートルある手稲山の山頂にアンテナを設置したのじゃな。そして、このように山頂にアンテナを建てる方法をマウンテントップ方式というのじゃよ。  
**クマオ** へえ、知らなかつた。マウンテントップ方式か、覚えておこうっと。ところで、山の上にあるアンテナはどれくらいの高さなの？

**博士** 高さはアンテナごとに違うんじやが、アンテナを設置する台（鉄塔）の部分を含めると山頂の地面からだいたい数十メートルもの高さじやな。左の写真はわしが手稲山に登ったときの写真なんじやが、とても高いのが分かるじやろ。ちなみに白丸で囲ったのがわしじや。どれくらい高いか、なんとなく分かるじやろ。  
**クマオ** ホントだ。博士がすごく小さく見えるね。  
**博士** 次のページではアンテナに関するクイズを出してみよう。クマオくんは分かるかな。

**クマオ** うん、頑張るよ。



▲博士とアンテナ